

# 千葉市立病院改革プラン（第4期）における目指すべき病院像（青葉病院）

## 1 現状分析

### ● 青葉病院の強み

- ・救急診療  
「救急車（入院）を断らない病院」の方針の下、24時間365日救急医常駐体制により、市内トップクラスの年間4,000件台の受け入れを実施し、市の2次救急医療に貢献。  
平成27年10月より新救急棟を供用開始し、診療体制を強化。
- ・専門医療  
内科では、県内有数の移植症例を誇る血液内科の他、甲状腺副甲状腺、糖尿病などで特色ある医療を展開。整形外科では、平成24年度より海浜病院の入院機能を集約化し、ほぼ全ての分野での疾患に対応可能であるなど専門診療体制の充実を図っている。

### ● 外部環境の変化

- ・救急医療のニーズの増  
市内の救急搬送人員 H22：44,216人 → H27：47,596人
- ・高齢化の進展  
65歳以上人口 中央区 H25.3：41,946人 → H28.3：45,832人

## 2 課題

### ・救急診療体制の維持

高齢化の進展に伴い救急搬送の増が見込まれる中、患者の積極的な受入れを継続するため、各診療科による救急部門の積極的なバックアップ体制の維持が必要。

### ・紹介患者の確保

青葉病院の周辺には、急性期病院が多数立地し競争が激しく、他病院との適切な役割分担の下、病床稼働率向上のため、地域医療機関への働きかけなどにより、紹介患者を確保していく必要がある。

## 4 収支見込み

(単位：百万円、税込)

	H25	H26	H27	H32		H25	H26	H27	H32
	実績	実績	実績	計画		実績	実績	実績	計画
病床稼働率	68.7%	67.7%	76.3%	80.9%	医業収益	7,586	7,717	8,414	9,213
延入院患者数	95,238	93,962	106,141	112,165	入院収益	5,419	5,579	6,073	6,700
新規入院患者数	7,917	7,268	7,472	8,663	外来収益	1,988	1,947	2,132	2,278
入院診療単価	56,779	59,373	57,195	59,731	医業費用	9,780	10,254	10,871	12,370
外来患者数	216,291	199,474	204,150	208,610	医業収支	▲ 2,194	▲ 2,537	▲ 2,457	▲ 3,157
外来単価	9,192	9,759	10,442	10,920	経常収支	▲ 655	▲ 577	▲ 125	▲ 279
医業収支比率	77.6%	75.3%	77.4%	74.5%	純損益	▲ 724	▲ 1,027	127	▲ 328

※ 上記の値は、一定の条件に基づいて算定した現時点での推計値である。

今後、人員や医療機器の計画を反映する予定であることから、数値は変動する可能性がある。

## 3 目指すべき病院像

### 強みがある分野

#### 内科診療

総合内科、血液内科、甲状腺副甲状腺内科等の専門的治療の提供

#### 整形外科

高齢化に伴い増加する整形外科疾患への対応

### 5事業への対応

#### 救急医療

他病院では対応が困難な夜間の受入れに積極的に対応するなど、市の2次救急医療に貢献

#### 災害医療

災害医療協力病院として、災害時の患者の積極的な受入れ

### 5疾病への対応

#### がん診療の強化

高齢化に伴い今後増加が予想される肺がん、消化器がんを中心に化学療法部門を強化

#### 糖尿病診療の提供

糖尿病週末入院プログラム等の指導実施など、糖尿病への積極的な対応

#### 精神医療の提供

身体合併症を有する精神疾患や児童精神に対応

## 5 収支向上の取り組み

### ● 紹介患者の確保等による病床稼働率の向上（入院収益：+601百万円）

- ・地域医療機関への働きかけ等により紹介患者を確保し、病床稼働率の向上を図るほか、診療報酬改定への的確な対応を図る。

### ● 検体検査業務の自主運営（入院収益：+26百万円）

- ・検体検査業務の直営化による加算の取得及び委託料の削減

対H27年  
医業収益  
+799百万円  
・入院収益  
+627百万円  
・外来収益  
+146百万円